

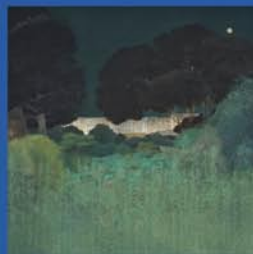
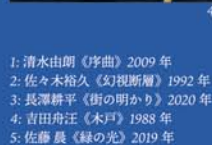
CONSTRUCTION

THE ARCHITECTURE EXHIBITION

このたび、郷さくら美術館では「CONSTRUCTION〜タテモノとカタチ〜」現代日本画展を開催いたします。CONSTRUCTION(=建築・建設)とは、おもに土・石・木・金属・ガラス・コンクリートといった多様な素材を用いて建物を建てる、橋を架ける、道路を作る、など建設することを意味します。そして、世界各地の歴史のなかで形づくられてきた様々なこれらの建築物は、世界遺産に指定されるものや、人々の生活の中で日常的に使われるものまで多岐にわたります。実用性に加えて時代や文化を反映した美的価値も備えており、古くから絵画において魅力的なモチーフとして描かれてきました。

本展では、国内外の建築物に着目して制作された大迫力の現代日本画を展覧いたします。シンメトリックな建築構造や、幾何学的でリズムカルな建築空間、静謐な空気が漂う建築風景など、多彩な視点で描かれた作品が並びます。また、初公開作品の佐藤 晨《静かな生活》《緑の光》と並木 功《リハーサル》、吉井東人《画家の朝》がごさいます。それぞれの作品の表現を比較しながら、建築物の構造の美しさ日本画ならではの洗練された“タテモノとカタチ”の作品をご堪能ください。

タテモノとカタチ



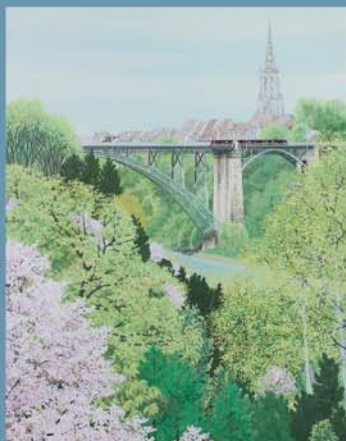
1: 清水由朗《序曲》2009年
2: 佐々木裕久《幻視断層》1992年
3: 長澤耕平《街の明かり》2020年
4: 吉田舟汪《木戸》1988年
5: 佐藤 晨《緑の光》2019年

2025.6/24(TUE.)-8/31(SUN.)

同時開催

桜百景 vol.41

桜の作品のみを展示する桜百景展は、季節を問わずお花見を楽しんでいただける展覧会です。今回は、「タテモノと桜」と題し、企画展に合わせて、桜とタテモノの共演によるお花見を楽しんでいただけます。本展では、岩永てるみ《鉄橋を渡る風》を初公開いたします。タテモノに花を添える桜花の優美さとともに、どうぞご堪能ください。



岩永てるみ《鉄橋を渡る風》2022年

学芸員によるギャラリートーク

第1回：6月28日(土) 全日 14:00-
第2回：7月19日(土) 予約不要・無料(入館料のみ)
第3回：8月2日(土) ※変更になる場合がございますので、最新情報はHPにてご確認ください。

無料音声ガイド

お手持ちのスマートフォン・イヤホンをご使用頂き、セレクトした作品の解説をお聞き頂けます。

次回展：「現代鳥獣戯画」展 9/9(火) — 11/24(月)

表：掲載作品 上：村屋正之《宙》2003年(部分) / 下：米谷清和《雨・朝》1980年(部分)

入館料	一般	大高生	中学生以下無料 小学生以下 要保護者同伴
	800円	300円	

【開館時間】10:00-17:00 (最終入館 16:30)

【休館日】月曜日(但し、7/21・8/11開館、7/22・8/12振替休館)



東急東横線・東京メトロ日比谷線中目黒駅徒歩5分
〒153-0051 東京都目黒区上目黒1-7-13 TEL:03-3496-1771
【主催】郷さくら美術館
【後援】一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会

